

先生の萌えどころ!!

まんがを描くには計算も必要だけど、やっぱり自分の萌えをぶちこまなければ始まらない! 佐野先生の“萌え”はどこなところ?

意外性



「こんな可愛い子がこんなゴツイバイクに乗るんだ〜っていうところが好きです」

先生のイチ推しシーン

▲中国編で、敵から逃げる愛夏羽をバイクに乗った紀羅が颯爽と助けるシーン。ヒーローはこうでなくちゃ!

ヒロインのために体を張る



「紀羅の代わりに大和にボロボロになってもらってます笑」

▲ヒロインのために命をかけるのが佐野先生のヒーロー。傷だらけになればなるほど萌えるそうですが「紀羅は強すぎてあんまりボロボロにならない」ので大和が身代わりに… (笑)

第2回(17号)はかわいいヒロインの達人

水瀬 藍先生
お楽しみに!!!



「怒っている表情は自然と描けるんです」

先生いわく「キャラの内面が強く出るような表情…たとえば紀羅が激怒するシーンなんかは、攻撃性を表すことが一番の目的なので自然と表情も決まります。逆に甘い告白シーンなんかは悩めますね。普段から“カッコいい表情”をインプットするようにしています」とのこと。

「紀羅にはもっと変態になってほしい」

「好きな女の子のパンチを受けた手をなめる、紀羅の変態性を出したかった」と先生がいう右のシーン。たしかに、紀羅の危ない一面がよく出ています。しかしその危うさこそ紀羅の魅力。内面を深堀りすることで、自然とカッコいいポーズになるいい例です。

何気ない(もしくはキメの)ポーズや魅惑的な表情は、ヒーローをイケメンたらしめる重要なファクター。佐野先生の歴代ヒーローたちも、そのポーズや表情で多くの読者の心を奪ってきました。しかし、意外にもカッコいい表情やポーズは苦手なんだそう。「カッコよく描くぞ」と意識するよりも、キャラの内面がわかるようなポーズや表情を描くことを意識しています」。見た目にとられず、まずはキャラの内面ありき。そこそが、イケメンを何倍もイケメンに見せる達人の技なのです!



その2 カッコいいポーズと表情はキャラありき

その3 読者をヒーローのトリコにする構成

●読者の「自分だけが知っている」感をおおる



愛夏羽を怒らせて部屋を出る紀羅。その手には痛々しい傷が…。それは嫉妬で愛夏羽をめちゃくちやにしたい自分をおさえようと、手を強く握りしめた証拠。情動と愛しさの間で葛藤する紀羅の姿が、読者にだけは伝わる構成になっています。

●ギャップで落とす



「ひどさと優しいさの緩急は気をつけています」というように、先生はヒロインの感情を下げ上げるのがお上手。ギャップを巧みに操って紀羅のイケメン度を上げています。

▲オクシジョンで売り飛ばすという絶望を与えてからの甘いキス。幸福度が一気に上昇。

まんが家直伝! 達人の技で、まんががどんどん上手くなる!

Sho-Comi
まんが
アカデミア

達人に聞け

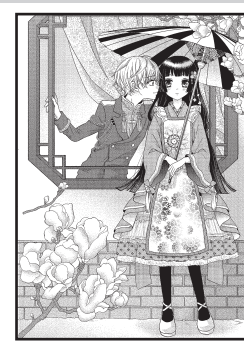
まんがが上手になりたい! でも、作画にストーリーに演出…いきなり全てをアップデートするのは難しい。だったら、まずはひとつ自分の“武器”を手に入れよう! そのためのテクニックを、その道の達人であるまんが家先生に直撃インタビュー。月イチだけのスペシャル連載スタートです!!

第1回 | イケメンの達人

佐野愛莉先生

[仁義なき婿取り]

ヤクザの総帥の孫娘・愛夏羽は、天使のような紀羅と恋に落ちる。しかし、紀羅の正体は蛇嶋組の若頭。ヤクザの頂点を取るべく愛夏羽を手に入れようとしていたことを知り…。



その1 “男”を感じさせるには、ほんの少しの差でいい

ポイント!! 首まわりの線と影



「女の子より少しだけ、首と鎖骨に線を増やして影を多めに入れています。男女の差は、顔よりも体のほうがつけやすいです。特に、首と鎖骨は見えていることが多い分、差を出しやすいですね。線と影を少し足すだけで骨格がしっかり強調されて、男の子らしさが出ます」と佐野先生。

「紀羅は、女の子と間違われるほどの美少年という設定なので、男らしい、いわゆるシュツとした男前にはできません。可愛らしさは保ちつつ、いかに男として見せていくかが課題です」と語る佐野先生。作画的にはヒロインと同じ感覚で描いているものの、細かい部分で工夫を重ねているんだとか。「ほんの少しの差で、男女の違いは出せます」。



ポイント!! 指と爪の形



「個人的に、指の先と爪の形で男女は描き分けられると思っています。なので、指先は特に意識して描いていますね。とはいえ数ミリ単位の差なんですけど…」数ミリ…そのこだわりは達人ならでは!

ヒロインと比べると…



男の子→指の先/丸い、爪の形/四角い
女の子→指の先/細い、爪の形/丸い